

戸 田 市 教 育 委 員 会 会 議 録		
招 集 期 日	令 和 6 年 9 月 1 9 日 ( 木 )	
場 所	戸 田 市 役 所 教 育 委 員 室	
開 会	9 月 1 9 日 午 前 9 時 3 0 分	
閉 会	9 月 1 9 日 午 前 1 1 時 3 0 分	
教 育 長	戸ヶ崎 勤	
教 育 長 ・ 委 員  出 席 状 況	戸ヶ崎 勤	出 席
	仙 波 憲 一	出 席
	木 村 雅 文	出 席
	長 道 修	出 席
	浜 田 美 咲	出 席
説 明 員  ( 出 席 者 )	川和田教育部長、梶山参事、片境次長	
	金澤教育総務課長、河西学務課長、杉森教育政策室担当課長	
	鎌田生涯学習課長、高屋生涯学習課課長	
書 記	教育総務課総務担当 我妻副主幹	
傍 聴 人	3 名	

## 会議の経過及び結果

教育長

この夏に開催されたパリ・オリンピックでは、ほんの一握りの勝者と多くの敗者が生まれましたが、グッドルーザー（good loser）という言葉があるように、美しき敗者による心揺さぶる言葉もたくさん生まれました。その言葉のいくつかを振り返ってみます。

準々決勝で失神一本負けした柔道の永山選手「オリンピックの舞台で彼と全力で戦えた事を幸せに思います。誰がなんと言おうと私たちは柔道ファミリーです。」

個人総合6位で連覇ならなかった体操の橋本選手「金メダルを獲得した岡選手をたたえ、彼が怪我をして、ここまで乗り越えて、彼の努力と諦めなかった強さに、本当に感動しました。」

個人メドレーで連覇ならずの競泳の大橋選手「苦しいことの方が多かったけど、ここまでたどり着くことができ、自分自身の選んだ道を誇らしく思う。」

メダルが取れなかったスケートボードの四十住選手「他人の失敗は祈りたくないの。」

ところで、大切な試合で負けて落ち込んでいる子供に、どんな言葉をかけてあげたらよいのか、多くの人が悩むことだと思います。「くよくよしないで前向きになろう」、「いつまでも泣いてないで」と励まされても、本人の悔しさや悲しさは簡単に癒えるものではありません。そう簡単にプラス思考に切り替えることはできません。悔しくて励ましの言葉にも反発したくなることもあります。安易な言葉掛けは子供の自尊心を傷つけてしまうこともあります。ネガティブな感情に目を背けるのではなく、自然と湧き起こる感情に正対し、それを噛みしめることで、悔しさや悲しさの経験が、次の行動のエネルギーに変化することもよくあることです。

コーチングの世界には「ペーシング」という考え方があります。こ

	<p>れは「相手のペースに自分を合わせる」というものです。ペースとは「歩幅」のことです。大人のペースではなく、子供たちのペースに合わせる、同じ速さやトーンで話す、相手の話を途中で遮らない、相手の言葉を繰り返す、などを通じて、同情することで選手に安心感をもたせ、緊張を和らげることも一つの方法です。</p> <p>心の整理は、誰かにしてもらうものではなく自分自身にしかできません。しかし、心の整理のサポートをすることはできます。そのためにできることは、「話をよく聞く」ことです。言葉を途中で遮らず、ペースを合わせ、ときには沈黙をも尊重しながら話を聞くことです。</p> <p>また、日頃から「負けたときの心の準備」をしておくことも必要かもしれません。負ける可能性の方がはるかに高いので、その時にどう関わって欲しいのか、平時に子供から本音を聞いておくことも必要かもしれません。さらに、話を聞いても何も返ってこないこともあると思います。そんなときは、ただそばにいただけでもよいかもしれません。気にかけてくれている、と子供たちは安心して、自分と向き合うきっかけとなるかもしれません。</p> <p>とは言っても、思い通りに行かないのが世の常であって、言うは易く行うは難しですが。</p>
教育長	<p>それでは、ただ今から、令和6年第9回戸田市教育委員会定例会を開会いたします。初めに、前回の会議録の承認ですが、事前に会議録の内容を見ていただいておりますので、御異議がないようでしたら承認ということでよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>了承</p>
教育長	<p>それでは、会議録に御署名をお願いします。</p>
各委員	<p>署名</p>
教育長	<p>次に、秘密会となる案件につきましてお諮りいたします。次の案件については、個人情報、公開することにより事務の公正な執行に支障</p>

	<p>が生じる案件及び人事案件となりますので、秘密会で行うこととしてよろしいかお諮りいたします。</p> <p>報告事項 市内中学校で発生した事案について</p> <p>議案第 21 号 令和 7 年度当初教職員人事異動の方針について（案）</p>
各 委 員	（異議なし）
教 育 長	それでは「報告事項 及び議案第 21 号」は、秘密会とすることに決定いたしました。
教 育 長	<p>では、「教育委員提案」について御報告します。</p> <p>長道委員から御提案のありました「教育委員提案 I R Tを活用した子供の学力の伸び率について」事務局より説明願います。</p>
説 明 員	<p>長道委員から御提案のありました「I R Tを活用した子供の学力の伸び率について」説明いたします。</p> <p>資料 2 ページを御覧ください。本件の説明を行う前提として、IRT の調査である埼玉県学力・学習状況調査について説明いたします。</p> <p>埼玉県学力・学習状況調査の目的は、児童生徒の学力や学習に関する事項等を把握することで、教育施策や指導の工夫改善を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進することにあります。対象はそちらにある通りです。</p> <p>3 ページを御覧ください。調査の内容は、小学校 4 年生から中学校 1 年生までは国語と算数もしくは数学と質問調査、中学校 2 年生・中学校 3 年生はそれに英語を加えたものです。令和 6 年度から県内全ての学校が CBT、つまり 1 人 1 台端末を活用し、タブレット上で調査を回答しています。</p> <p>4 ページを御覧ください。IRT とは Item Response Theory、項目反応理論に基づいた調査であり、どのくらい難しい問題に正答できるかで学力を捉えるため、年度や学年が異なっても全く同じ問題を一部出</p>

題することで、難しさを比較しています。この理論に基づいた調査で有名なものは TOEFL や OECD の PISA 調査などです。年度をまたいで同じ問題を出題する可能性があるため、問題は非公開であることも特徴の一つです。

なお、5 ページには全国学力・学習状況調査との違いもお示しました。全国の調査は IRT では無いため、問題は公開、解説や授業アイデア例も作成されています。

6 ページ、ここで IRT を使った埼玉県学力・学習状況調査の特長を整理します。大きな特長は小学校 4 年生から中学校 3 年生まで、同じ子供を継続的に調査しているため、個の学力の伸びを把握できることにあります。全国の調査は小学校 6 年生と中学校 3 年生だけですので、その学年のその年の回答状況のみが分かるいわゆる点の調査になっていますが、県の調査は継続して子供の状況を見られるいわば線の調査になっているところが最大の特長です。

7 ページにあるように、調査には同じ問題、つまり学力を測るものさしとしての問題があるために、異なる学年、異なる年度の調査でも比較可能であり、学力の経年変化を測定することが可能になっています。

また、8 ページにあるように、県の調査は非認知能力や学習の方略、学習の効果を高めるために子供が意図的に行う活動にも注目している点も特長として挙げられます。認知能力は、いわゆる学力であり、テストによって明らかになるものですが、非認知能力は認知能力ではない能力全般で、自制心や自己効力感、やり抜く力なども質問調査などから把握をしています。また、学習の効果を高めるための活動として学習方略についても把握をして、その伸びから学力との相関を測っています。

さて、前置きが長くなりましたが、戸田市の学力の経年変化について説明します。9 ページを御覧ください。ここは色を追って見ていた

だきたいのですが、水色は今年度中学校3年生の子供たちですが、着実に学力を高めていることが分かります。それぞれ色の違いで学年が違いますので、それぞれを追って見てください。10ページも同じものです。

11ページは調査から分かる、学力を伸ばした児童生徒の割合、こちらは国語についてです。水色が県、オレンジが戸田市ですので、県よりも多くの子供たちを伸ばしていることが分かります。12ページの算数・数学においても、県と同等もしくは県よりも多くの子供たちを伸ばしていることが分かります。13ページ、英語も同様です。

14ページにその状況をまとめました。学力のレベルの経年変化という点では、ほぼ全ての学年・教科で、学年が上がるごとに着実な「学力の伸び」が見られます。学力を伸ばした児童生徒の割合については、国語では、約60%以上の児童生徒に学力の伸びが見られ、特に、中学校3年生では約75%の生徒が学力を伸ばしています。算数・数学では、約50%以上の児童生徒に学力の伸びが見られ、特に、中学校2年生では約80%の生徒が学力を伸ばしています。英語では、約75%の生徒に学力の伸びが見られます。

このように学習の状況を把握できるのですが、冒頭申し上げたように、この調査の目的は把握したことから教育施策や指導の工夫改善を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進することにあります。15ページ。そこで、戸田市では、結果を子供に還元するという取組として、市内各小・中学校で県学調の分析を実施したり、個々の児童生徒の伸び、学習方略を確認したり、さらには、伸びていない児童生徒への支援策を検討・計画したりして、指導や支援に当たっています。

子供の伸びが分かるということは、伸びている子供の学級なども分かりますので、戸田市では16ページ、結果を授業改善に活かす取組として、子供の学力を伸ばした教師の取組に注目し、児童生徒の学力を特に伸ばした「教科担当」「学級担任」を抽出し、それらの教師が

	<p>ら、力を入れている取組などを聞き取り、それを効果的な取組として、市全体で共有を図ることも行っています。毎年度「指導の重点・主な施策」でグットプラクティスとして紹介しているものがそれに当たります。</p> <p>さらに、17 ページを御覧いただきまして、認知的方略を生かした取組として例を挙げています。認知的方略、つまり、自分の理解度を深めるような学習活動、例えば、勉強した内容を自分の言葉で理解している割合が高い集団には、話合いや発表する場を多く設定することで、より学習内容を定着させたり、逆に、課題が見られる集団には、発表内容のヒントカードを用意することで、より学習内容を定着させたり、関わり方を変えることで児童生徒の力を伸ばすことに繋げています。</p> <p>もちろん、18 ページのように、調査の数値をもとに、日頃の学習の成果を価値づけたり、不得意な科目・領域についても、伸びを認め、本人の学習意欲の向上につなげたり、経年の変化で伸びが見られない領域においては、つまずきの原因を探り、個に応じた指導につなげたりしています。</p> <p>なお、19 ページのように、県の調査の復習シートというものがありまして、それを活用し、個々の苦手分野を伸ばしたり、AI ドリル等も活用し、指導の個別化を図ったりしています。また、個人の伸びや正答状況を保護者や本人との面談を通して、伝達し、家庭との連携を図るようにもしています。</p> <p>これらの手立てにより、子供たちの学力の積み上げを行っています。説明は以上となります。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>何か御質問等がありましたら伺います。</p>
<p>委 員</p>	<p>御説明ありがとうございました。</p> <p>同じ子供がどのように伸びたかがわかる取り組みを埼玉県全体で</p>

	<p>やっていることが非常にすばらしいと思いました。</p> <p>特に学力の経年変化のところ、学年が上がるにしたがって学力も上がっている状況が見られ、日頃の教育の成果がうかがえます。</p> <p>学力を上げることも大切ですが、つまずいている子供たちがどうすれば学力が伸びるかを分析することも重要だと思います。特に気になったことが、16ページの「指導の重点・主な施策」について、教員はという際にグッドプラクティスのページを利用しているのでしょうか。</p>
説明員	<p>つまずきの分析については、学校ごとに傾向があるため、まずは各学校でしっかり時間を取って結果について分析し、そこで見られるつまずきに対する対応策を考えるという取り組みを全校で行っております。</p> <p>「指導の重点・主な施策」の活用については、教育委員会で夏季休業中に実施した教職員研修で内容について詳しく説明をし、それを学校に持ち帰って、学校の教職員でしっかり共有するように指導しております。</p>
委員	<p>いわば健康診断を毎年受けて、この部分の結果がだんだん良くなっている、悪くなっているというのがわかるように、経年でその子供の学ぶ力を測っているという事ですよね。</p> <p>こちらは認知能力を測るのみならず非認知能力にも注目していると書いてありますが、どんな問題が出ているのか非常に関心があります。この問題は誰が作ったのでしょうか。</p>
説明員	<p>こちらについては県教委が、問題を作っています。</p>
教育長	<p>補足として、非認知能力の測定は問題の中から情報を抽出している訳ではなく、質問紙調査で行っています。</p>
委員	<p>そういう事だったのですね。ありがとうございます。</p>

教 育 長	他にはいかがでしょうか。
委 員	<p>子供が先日こちらの調査を受け、つい最近結果が返ってきました。紙では絶対に測れない、実際に問題を解くのにかかった時間までグラフで出ていて、CBTは凄いと思いました。</p> <p>一点だけ、結果が返ってきた際に結果を受けて保護者としてどのように対応したらよいのかわからないので、もし対応方法があれば教えていただけたらと思います。</p>
説 明 員	<p>ありがとうございます。</p> <p>対応についてですが、分析の中で教科の分野ごとの結果も出ているかと思います。そういったところで得意、不得意を見ていただいて、例えば苦手な分野であっても、来年度伸びていたら、そこは伸びているというところを認めていただきたいですし、正答率が低い分野については、そこをフォローして練習していただければと考えております。</p>
教 育 長	<p>学校側も、もう少し啓発を行い、調査結果やその後の対応方法を保護者に理解してもらえるようにできればと思います。</p> <p>そういった取り組みをやっている学校はありますか。</p>
説 明 員	<p>個人面談で結果を返却している学校もあります。その中でお子さんの学習状況であるとか、フォローすべき内容等をお伝えするような取り組みをしています。</p>
教 育 長	<p>そのような学校の取り組みもグッドプラクティスとして、校長会でも伝えたいと思います。</p> <p>他にはよろしいでしょうか。</p>
委 員	<p>資料 19 ページに、復習シートはホームページからダウンロードできるようなこと書いてありますが、たしか問題は非公開だったと思います。何を復習するのでしょうか。</p>

<p>説明員</p>	<p>問題が非公表であるのは、学力の伸びを測るためには、調査の設計上、同じ問題を使用するためです。そこで、実際の問題と類似の問題が練習問題としてホームページ上に掲載されています。</p>
<p>委員</p>	<p>わかりました。ありがとうございました。</p>
<p>教育長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>続きまして、長道委員から御提案のありました「教育委員提案 防災教育について」、事務局より説明願います。</p>
<p>説明員</p>	<p>続いて長道委員から御提案のありました「防災教育について」説明いたします。</p> <p>21 ページを御覧ください。学習指導要領では、安全教育の目標は、そちらにあるとおり、「生涯を通じて安全な生活を送る基礎を培うとともに、進んで安全で安心な社会づくりに参加し貢献できるように、資質・能力を育成する。」と示されています。</p> <p>安全に関する身に付ける資質・能力とは 22 ページにあるように、必要な知識や技能だけでなく、安全の状況を適切に評価するとともに、必要な情報を収集し、考え、意思決定し、行動する力や、安全で安心な社会づくりに貢献する態度などが示されています。</p> <p>埼玉県においても 23 ページにあるような取組を位置づけて各市町村、各学校への指導がなされています。</p> <p>戸田市でも、24・25 ページにあるように、全体計画や年間指導計画に位置づけがされております。</p> <p>26 ページ、具体的な取組としては、避難経路の確認や避難訓練などを通じた資質・能力の育成が行われています。27 ページの引き渡し訓練もその一つです。主体性や実践力を高めるために 28 ページのように休み時間に行うなどもしています。29 ページはその様子です。</p> <p>避難訓練だけでなく、授業を通して学ぶという点では、30 ページ、正に「防災教育」の文脈で、「災害について正しく知る」「災害に対して備える」「いざというときに的確に行動できる」ように計画と実践</p>

	<p>を行っています。</p> <p>31 ページを御覧いただきますと、防災を含む安全に関する教育については、特定の教科ということではなく、教育活動全般で行っております。特に「防災」ということに特化しますと 32・33 ページのような項目が挙げられます。34 ページからはその教科書例で、小学校 6 年では地震による被害とその防災に関すること、35 ページ、中学校 3 年生では災害への備えということについて詳しく学んでいます。</p> <p>また、36 ページにありますように、戸田市独自の取組としては、市役所「危機管理防災課」の協力を得た授業や市内の消防署見学などを行っているほか、37 ページ、PBL でも防災について詳しく調べ、昨年度も新曽地区小中 4 校合同で研究発表を行ったところです。38 ページ、林間学校の炊事体験や校外学習で「そなエリア東京」を訪問するなどしている学校もあり、様々な教育活動と関連づけて指導を行っています。</p> <p>39 ページには中学校の例を示しています。</p> <p>最後、40 ページ。今後に向けてというところでは、現在、地震災害だけでなく、ゲリラ豪雨や台風など様々な災害が起こり、人的・物的災害が発生している状況を鑑み、「いつ」「どこで」災害が発生しても自分自身の力で自分の命を守り抜く「自助」だけでなく、自らが進んで安全・安心な社会づくりに参加し、貢献できる「共助・公助」の意識を高めていきたいと考え、取り組んでおります。そういった意味でも、防災教育は学校だけで完結せず、家庭や地域社会との連携が不可欠です。各学校では、安全マニュアルの見直しを行うとともに、各校のホームページや Home &amp; School を活用するなどしながら家庭や地域と防災教育について共通認識できるような取組を進めていきたいと考えております。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>何か御質問等がありましたら伺います。</p>
<p>各 委 員</p>	<p>防災教育というのは命を守るという意味で本当に重要な教育で、どの学校も訓練等を盛んに行っているかと思います。最近想定外の大き</p>

	<p>な災害が発生することが非常に多く、その時に的確に行動できるのが重要です。</p> <p>市の防災計画については、学校は研修等を受けて理解できているのでしょうか。</p>
説明員	<p>市の防災計画を参照しながら、各学校の防災マニュアル等を作成したり、市の関係課と連携し研修等も実施したりしています。</p>
委員	<p>また、避難所設営作業や発電機作動作業等、非常によい取り組みだと思うのですが、実施しているのは一部の学校だけなのでしょうか。</p>
説明員	<p>避難所設営などとなると大がかりな取組となりますので、なかなか全校で実施するのは難しく、一部の学校となっています。</p>
委員	<p>時間のない中で簡単ではないと思いますが、理想はどここの学校も3年に1回くらいで実施できるとよいと思います。やはり共助というか、中学生くらいになったら、自分たちも周りの地域の人たちを助けるという考えが芽生える貴重な経験になると思います。</p>
教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>では、他にはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>子供の頃から危険管理意識を持たせるというのはすごく重要です。</p> <p>災害が発生した際に、自分はどのようによいか分からないと動揺するのではなく、自主的にこう動く、そして年上の人たちを助けてあげるようなことを教えるというのはすごく大事なことです。</p> <p>資料で林間学校において防災野外炊事練習を行っているとありましたが、学習計画・防災教育はどんどん外に出て実践をさせた方がよいと思います。</p>
教育長	<p>今の御指摘で、まさに防災教育の大事な部分は実感を伴って理解するということだと思います。</p>

	<p>積極的に実体験を伴うような教育を行い、よい教育は一部の学校だけではなく、他の学校でも行っていくことが重要です。</p>
委員	<p>最近、雨水貯留管のパイプが戸田駅から山宮橋まで通し終わったようです。この間そちらを見てきましたが、すごく大きく迫力がありました。</p> <p>10人ずつくらいしか中に入れないので厳しいかもしれませんが、そういった現場についても子供たちが見る機会があるとよいと思いました。</p>
説明員	<p>現場を見るというところで、検討していきたいと思います。</p>
委員	<p>以前、授業参観後そのまま避難訓練をして、引き渡し訓練も行う機会がありました。</p> <p>そこで先生が東日本大震災の時、間接的に少しつらい思いをされたという話とともに、倒れた建物や自動販売機の写真をいくつかスライドで子供たちに見せたのですが、何人かから笑いが起こってしまいました。やはり一部の子供たちが、自分事として捉えられていなくて、先生も伝わらないという悲しそうな表情がとても印象に残っています。</p> <p>大人もそうだと思うのですが、災害は実際に自分の身に起こらない限り、身近なこととしては捉えがたいことだと思うのです。だからこそこうやって繰り返し防災について学んで知識として得て、こうして動くというのが分かっているならば、いざ本当に災害が起きた時に「あ、これやったことだ」と動けるといふ、それが本当に大事なことだと思います。一部の学校だけではなく、全部の学校で守る術を身につけられるようにしていただけたらと思いました。</p>
教育長	<p>ありがとうございました。大変貴重な御意見だと思いますので、指導の方でぜひ、今後活かしてください。</p> <p>それでは以上を持ちまして教育委員提案を終了いたします。</p>

<p>教 育 長</p>	<p>続きまして、「報告事項」について申し上げます。本日は「その他」を含めまして 10 件の報告がございます。</p> <p>令和 6 年 9 月戸田市議会定例会 教育関連一般質問について</p> <p>戸田南小学校教室棟（含給食調理場）増築等工事について</p> <p>美笹中学校建替基本計画の進捗について</p> <p>戸田市教職員専門研修実施報告について</p> <p>令和 6 年度全国学力・学習状況調査及び埼玉県学力・学習状況調査の結果概要について</p> <p>戸田市未来の学び応援プロジェクト（ふるさと納税を活用したクラウドファンディング）について</p> <p>市内中学校で発生した事案について【秘密会】</p> <p>市民大学講座「家庭教育講演会」の実施について</p> <p>郷土博物館開館 40 周年記念 第 31 回企画展の開催について</p> <p>その他</p> <p>資料 No.2 に基づいて、秘密会以外の詳細につきまして、各所属長より報告いたします。なお、御質問につきましては、すべての報告が終了したのちに伺います。</p>
<p>説 明 員</p>	<p>報告事項 「令和 6 年 9 月戸田市議会定例会 教育関連一般質問について」御報告いたします。</p> <p>来る 25 日に閉会いたします 9 月戸田市議会定例会について報告いたします。</p> <p>まず、1 ページの補正予算案件については、歳出では主にインフレスライドによる戸田第一小学校改築等工事請負費の増額など、歳入で</p>

は学校安全総合支援事業の補助金増額です。

毎回の補正予算の説明で申し上げております、いわゆる「インフレスライド請求」について御説明申し上げますと、戸田市の建設工事請負契約約款において、「予期することのできない特別の事情により、工期内に日本国内において急激なインフレーション又はデフレーションを生じ、請負代金額が著しく不相当となったときは、発注者又は受注者は、前各項の規定にかかわらず、請負代金額の変更を請求することができる」と規定され、工事請負契約時と工事施工時において、物価変動の影響を受け、大幅な工事費の乖離が生じる場合に請求できるものです。校舎の増改築工事など、長期にわたる工事に多く適用されております。毎年3月に国土交通省が決定している「公共工事設計労務単価」の見直しに合わせて、単価の変動率が高い場合にインフレスライド条項の適用について自治体に通知がなされ、工事業者は発注者である戸田市にインフレスライド請求をする流れとなっております。

次に、「学校安全総合支援事業」は、国が学校安全の組織的取組、そのための外部専門家の活用、学校間の連携を促進し、地域全体で学校安全推進体制を構築することを支援するため、県教委に本事業を委託しております。このたび戸田市の取り組みが採択されたことから補正をお願いするものであり、歳出では、研修会の講師謝礼、先進地視察の旅費、防犯用トランシーバーの備品購入費を増額するものです。

次ページは、一般質問でございますが、今定例会では2名の議員から一般質問が通告されました。

まず、むとう議員から、「学校給食について」として、1点目として物価高騰が続く中、献立の内容や食材の質は低下していないか。2点目として第三子に対する全額無償化について。3点目として学校給食費を無償にする考えについて。次に、本田議員から、「市民生活における負担軽減・生活支援の予算編成」として、1点目として奨学金制度の過去5年間の奨学金の給付状況、2点目として現在の全額返済か

	<p>ら、半額返済に戻し、家計負担を軽減すべきではないか。との質問があり、それぞれ教育部長から資料のとおり答弁したところです。</p> <p>なお、再質問等、一般質問の詳細につきましては「戸田市議会本会議録画配信」の二次元コードを掲載しましたので御覧ください。</p>
<p>説明員</p>	<p>報告事項 「戸田南小学校教室棟（含給食調理場）増築等工事について」御報告いたします。</p> <p>資料3ページを御覧ください。</p> <p>本工事につきましては、令和6年度から令和8年度にかけて施工予定でありましたが、この度、入札が中止となりましたので報告します。</p> <p>入札につきましては、一般競争入札で2回実施いたしましたが、いずれも応札者がおりませんでした。なお、2回目の入札に当たりましては、予定工期に納まる範囲で可能な対応として企業や技術者の実績要件等を緩和して実施いたしましたが、結果、応札者がおりませんでした。</p> <p>入札中止の要因としましては、建設工事に配置する技術者や建設作業員の人員不足・原材料不足に加え、全国的な建築設備の需要の高まり等による物価上昇が挙げられますことから、これらの要因を解決する条件として、やむなく、工期の見直し、これに伴う工事費の増額、物価上昇を見込んだ工事費の増額等を行い再度の入札を実施してまいります。</p> <p>今後は、早急に設計の再積算を行い、12月議会にて工事費の補正予算を提出させていただき、議決後に再度入札を実施する流れとなります。</p> <p>このことにより、増築校舎の供用開始が1年度先送りの令和9年4月となります。御心配をおかけいたしますが、学校運営に十分配慮した上で既存校舎の諸室をやりくりしながら進めてまいりますので御理解のほどよろしく願いいたします。</p>

説明員

報告事項 「美笹中学校建替基本計画の進捗について」御報告いたします。

4 ページを御覧ください。美笹中学校の既存校舎につきましては、老朽化により建て替えることとして、今年度、基本計画を策定いたします。なお、基本計画の策定後、令和7,8年度に設計、令和9年度から工事に着工する予定です。

基本計画の検討に当たっては、「戸田市立美笹中学校建替基本計画検討委員会」を設置し、現在、検討を進めています。

当委員会の委員構成は、保護者や地域の方々に構成される学校運営協議会委員を始め、美笹中学校の校長教頭、校長会から推薦を受けた笹目小学校長、また、美笹中学校生徒会の生徒、市職員等となっております。

今回、検討委員会委員として初めて生徒に参加していただく形となりましたが、生徒委員は、夜間に実施している検討委員会には出席が難しいため、通常の検討委員会とは別に時間を設定し、基本計画に関わってもらえるような仕組みとしました。

今回、生徒委員の大きな役割として、全校生徒に向けた校舎建て替えアンケートを行い、とりまとめ、発表を行っていただきました。発表の概要については、後ほど触れさせていただきます。

次に、検討委員会のスケジュールですが、7月2日に開催した第1回検討委員会を皮切りに、年度内に全5回実施する予定となっております。これに加え、準備会として7月25日に生徒委員によるアンケート発表を行っていただき、他の委員と意見交換を行いました。

今後は、生徒の意見が計画にきちんと盛り込まれているか、事務局から生徒委員に、適宜、報告と意見聴取を実施していく予定としています。

次ページを御覧ください。

	<p>検討委員会では、建替えコンセプト、整備方針、校舎の配置ゾーニング等について委員に意見を伺い基本計画をまとめていきます。</p> <p>7月2日に開催した第1回検討委員会では、美笹中学校を取り巻く環境などを中心に情報共有を行い、各委員と意見交換を行いました。主な意見は資料にお示したとおりでございます。</p> <p>7月25日に開催した第2回検討委員会準備会では、生徒委員が主体となり実施したアンケートについて発表が行われ、他の委員との意見交換を行いました。アンケート概要や主な意見はお示したとおりでございます。</p> <p>前回の定例会で、学校の工事中に通っている子供たちは、校庭が狭くなったり新しい校舎も使えなかったりで、残念な思いをしたまま卒業していき切実な問題であるので、工事に当たっては最大限の配慮を、という話題が上がったかと思えます。</p> <p>今回、生徒主体のアンケートの発表後の意見交換において、生徒委員からは、“生徒みんなが自分事として真剣にアンケートに回答してくれた。”“自分たちは、新しい校舎で過ごすことはできないけれど、一生のうちにあるかどうかの建替え計画に参加することができてうれしい。”といった意見があり、大変、立派だと感じました。</p> <p>8月29日に開催した第2回検討委員会では、第1回の意見や生徒委員からのアンケート結果などを踏まえ、建替基本計画における整備方針や建替えコンセプトについて検討しました。</p> <p>引き続き、生徒や委員の意見を大切にしながら基本計画の検討を進めてまいります。</p>
<p>説明員</p>	<p>つづいて、報告第「戸田市教職員専門研修実施報告について」御報告いたします。</p> <p>資料6ページを御覧ください。ここにまとめを載せてあります。上の表の1段目に夏の研修を列挙してありまして、それぞれの満足度や</p>

	<p>総合評価などを示しています。総じて満足度は高い結果となっており、総合評価でも昨年度以上の結果となっております。研修の詳細は7ページ以降に記載してあります。</p> <p>昨年度は教科の見方・考え方に特化した研修を行いました。今年度は学級経営を中心とした授業の根幹となる研修を実施しております。満足度の平均は3.63と昨年度よりも高い結果となっており、研修に意欲をもって取り組んだ教員も100%、先生方がそれぞれの課題意識に基づいて研修を受講することができたことがうかがえます。</p> <p>難易度の感じ方では、概ねどの年代においても「ちょうどよい」と回答している割合が最も高く、昨年度同様、1～5年目の教員は「少し難しい」「難しい」と回答する傾向がありました。</p> <p>授業の根幹に関わる研修では、過日説明をいたしました指導の重点・主な施策のアクティブ・ラーニング指導用ルーブリックやグットプラクティスの共有、学級経営リフレクションの内容について研修を行いました。感想から、「不易の部分であることを再確認できた。」「戸田市の指導の重点・主な施策を読み、教員が理解する時間をつくりたいと感じた。」など、内容を理解・習得し、自校の実情や取組を客観的に振り返り、捉えることにつながったことがうかがえます。なお、本研修では、研修の最後に学校ごとに受講者がそれぞれの研修の学びを共有し、自校でどのように伝達していくのかを考える時間を設定しております。「学校ごとの話し合いでは、3つの研修内容について共有でき、そこから、本校で取り組んでいく方向性が見えてきました。」等の感想に見られるようにアウトプットの機会を設け、自校における研修の在り方について考える機会を設定したことは先生方の満足度を高める上でも効果的でした。研修した内容をどのように校内に還元していくかを考える機会を設定していく研修方法は引き続き検討していきたいと考えております。</p>
<p>説明員</p>	<p>報告事項 「令和6年度全国学力・学習状況調査及び埼玉県学力・学習状況調査の結果概要について」御報告いたします。</p>

	<p>15 ページを御覧ください。令和 6 年度の全国学力調査では、小学校は、国語、算数ともに国及び県の平均正答率を僅かに下回る結果でした。中学校は、国語、数学ともに国及び県の平均正答率を上回る結果でした。同じ児童生徒集団で比較すると、令和 3 年度から令和 6 年度にかけて、国語の平均正答率が 1.6 ポイント向上しています。算数・数学においても、1.7 ポイント向上しています。国語、算数・数学ともに、全国以上の伸びが見られます。</p> <p>今後は、小学校年代での学習内容の定着を強化しながら、1 人 1 台端末をマストアイテム化し、教科等横断的な学びや、ICT を効果的に活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な実現を目指し、主体的・対話的で深い学びの授業改善をさらに進めてまいります。</p> <p>一方、16 ページの県の学力・状況調査ですが、本年度は、小学校 5 年生算数以外の項目で県平均正答率を上回っています。といっても 0.1 ですので、同等とみてよいと思っています。なお、昨年度県平均を下回っていた項目については、今年度はすべて県平均を上回っています。英語では、中学校第 2, 3 学年共に約 3 ポイント以上、県平均を上回っています。</p> <p>先ほどの教育委員提案でも御説明しましたが、伸びを把握しながら授業改善につなげておりますが、戸田市は、昨年度と同様、埼玉県平均よりも、高い学力のレベルを維持しつつ、児童生徒の学力を概ね同程度伸ばすことができしております。</p>
<p>説明員</p>	<p>報告事項 「戸田市未来の学び応援プロジェクト（ふるさと納税を活用したクラウドファンディング）について」御報告いたします。</p> <p>今年度も各学校の夢のある取組を応援すべく、クラウドファンディングを実施いたします。コンセプトや要件などは昨年度までと同様です。</p> <p>20 ページを御覧ください。今年度の提案内容はこちらのとおりです。</p> <p>上から 4 番目、「倒木したシンボルツリーの有効活用によるレガシ</p>

	<p>一の創出」(美谷本小)こちらは、予算で対応する以外の、長期的な視野にたった有効活用を実行するためのプロジェクトです。下から3番目の「VRを活用した未来を感じられる授業展開と学びの充実」(笹目東小)は大学と連携した授業改善を行い、メタバースやVRを授業に取り入れ、学び方を豊かにし、質の向上をねらった取組となります。</p> <p>一番下、「ボトムアップでの職場環境の改善による働きがい改革」(芦原小)コミュニケーションが促進される職場環境を目指して、集中スペースなどゾーニングなどを行い、働き方改革と教育の質の向上に繋げていくものです。また、グループウェアを使って会議効率を上げる取組などを行う予定です。</p> <p>今年度も10月からクラウドファンディングを実施してまいります。今年度の目標額は、これまでの募金実績に基づき、現時点では300万を目標に設定をしております。</p> <p>説明は以上です。</p>
<p>説明員</p>	<p>報告事項 「市民大学講座「家庭教育講演会」の実施について」御報告いたします。</p> <p>今年度は、10月12日(土)の午後2時から、市役所大会議室で開催いたします。会場受講のほか、オンデマンド配信も行います。</p> <p>テーマは「睡眠の質を上げよう～良い眠りがこどもの心と体を育てる～」と題し、快眠セラピスト、睡眠環境プランナーの三橋 美穂(みはし みほ)様を講師にお招きし、開催いたします。</p> <p>適切な睡眠が心身の発達に与える影響や、睡眠不足が引き起こす様々な問題について理解を深めるとともに、子供の健やかな成長には、質の良い睡眠が重要であることを学びます。</p> <p>より多くの保護者のみなさまに参加してもらえよう、Home &amp; School 等で講演会の御案内をしました。</p>
<p>説明員</p>	<p>報告事項 「郷土博物館開館40周年記念 第31回企画展の開催に</p>

	<p>ついて」御報告いたします。</p> <p>戸田市立郷土博物館 3階 特別展示室において、第31回企画展「新収蔵品展～ようこそ戸田の宝物たち～」を開催します。</p> <p>内容は、博物館では、市内で使われていた民俗資料や歴史資料を収集し、整理の上保管していますが、資料すべてを市民の方に公開する機会は少ないため、今回の展示では、令和3年から令和5年にかけて収集した資料を中心に、戸田の街や人々の暮らしの様子を紹介します。開催日は10月5日(土)から11月17日(日)の41日間となります。</p>
説明員	報告事項 「その他」について、事務局から何かございますか。
事務局	特になし。
教育長	以上で、「報告事項」が終わりました。何か御質問等がありましたら伺います。
教育長	まず、報告事項 令和6年9月戸田市議会定例会 教育関連一般質問について、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。
教育長	<p>次に、報告事項 戸田南小学校教室棟(含給食調理場)増築等工事について、いかがでしょうか。</p> <p>最近では近隣の市でも同じように入札の不調が起こっているでしょう。</p>
説明員	全国的にそういった状況があると聞いております。
委員	給食調理場の工事でも一年延びることになると思うのですが、何らかの影響は出ないのでしょうか。
説明員	戸田南小学校は、現在、給食センターで調理している給食であり、これが一年延長になるだけであるため、オペレーション上の変更はなく問題はないと認識していますが、学校給食課としっかり調整をしながら進めていきます。

委 員	わかりました。ありがとうございました。
教 育 長	<p>続きまして報告事項 美笹中学校建替基本計画の進捗について、いかがでしょうか。</p> <p>「こども基本法」に基づいて子供の意見を積極的に取り入れるというのは非常に大切なことだと思っています。</p>
教 育 長	<p>それでは、次に報告事項 戸田市教職員専門研修実施報告について、いかがでしょうか。</p> <p>研修による教職員の負担感みたいなものは、特に問題になったりしていませんか。</p>
説 明 員	<p>本年度につきましては、授業の根幹研修というのをメインに持ってきており、コマ数的に昨年度より少なくなっているところもあり、参加しやすかったという意見を聞いております。</p>
教 育 長	ありがとうございます。他にはよろしいでしょうか。
委 員	<p>一点だけ、幼保小連携 特別支援教育・UD 研修会について、幼稚園教諭と保育士は何名参加でしたか。</p>
説 明 員	26名は教員の参加で、保育士がそれ以外で11名参加です。
委 員	<p>これからは幼稚園教諭や保育士にもこういった研修会に参加してもらえるように呼び掛けていくことが重要かと思います。</p>
教 育 長	非常に大事な御指摘だと思いますので、担当の方でぜひお願いしたいと思います。
教 育 長	<p>次に報告事項 令和6年度全国学力・学習状況調査及び埼玉県学力・学習状況について、いかがでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。</p>
教 育 長	次に、報告事項 戸田市未来の学び応援プロジェクト（ふるさと納

	<p>税を活用したクラウドファンディング)について、いかがでしょうか。</p> <p>今年度はできるだけ教育委員会だけでなく、学校側も総力をあげて、事業に取り組んでもらえるように計画しているということですか。</p>
説明員	<p>学校側にもさらに主体性を持って教育委員会に提案やアピールをしてもらえるような仕組みにしていきたいと思っています。</p>
教育長	<p>このような取り組みは全国的に珍しく、全国からどうやってこの仕組みをやっているのかと結構関心を持たれている部分があります。</p> <p>難しいところですが、できるだけ寄付してくださった人たちに還元できるような仕組みや工夫をしていかななくてはいけないと考えています。</p>
教育長	<p>それでは、続いて報告事項 市民大学講座「家庭教育講演会」の実施について、いかがでしょうか。</p> <p>こちらは既に定員に達していますか。</p>
説明員	<p>会場受講よりもオンデマンド受講を希望する方が多い講座となっておりますので、会場受講の方は30名ほどです。</p> <p>オンデマンドの方は今100名程度の募集がありますが、定員がないので、これからでも応募は可能です。</p>
教育長	<p>ぜひ教育委員の皆さんも機会がありましたら、参加していただければと思います。他にはよろしいでしょうか。</p>
教育長	<p>それでは最後に報告事項 郷土博物館開館40周年記念第31回企画展の開催について、いかがでしょうか。</p> <p>前にお話しましたが、教育委員の皆さんにもこちらの企画展を御覧いただく機会を設ける予定ですので、よろしく願いいたします。</p>
教育長	<p>それでは次に、次第の6 その他の「次回の教育委員会の日程(案)」</p>

	について、事務局より説明願います。
事務局	次回、教育委員会定例会の日程ですが、10月17日(木)午前9時30分からの開催について、お伺いいたします。
教育長	次回の教育委員会定例会の日程は、事務局(案)のとおりでよろしいでしょうか。
各委員	了承
教育長	それでは、次回の教育委員会定例会の日程は、事務局(案)のとおり決定いたします。次にその他ですが、事務局から何かございますか。
各委員	特になし。
教育長	委員の皆様から次回以降の教育委員提案のテーマについて何かございますか。
委員	<p>キャリア教育の一環で子供たちが色々な現場に出向いて社会体験をしているかと思います。</p> <p>やはり授業で勉強している中身を現場に行って確認できる、あるいは学校に戻ってからフィードバックできるということが非常に大事だと思っています。</p> <p>今の学校教育の中で社会と関連したキャリア教育、つまり学校から出て実際に将来のことを考えて勉強するということが凄く必要だと思いますので、学校でどのようにそういうものが取り入れられているのかについて説明していただきたいです。</p>
教育長	こちらは教育政策室から御報告いたします。
委員	<p>最近では教員の志願者が減少し、欠員補充の教員も少なく、教員不足で非常に苦労しているかと思います。</p> <p>それに加えて採用した教員でも、精神疾患で休職して長期間休んでいる方もいると伺っています。</p>

	<p>現在の教員のメンタルヘルス予防やストレスチェック等の相談体制がどうなっているのか教えていただければと思います。</p>
教 育 長	<p>こちらは学務課から御報告いたします。</p>
委 員	<p>公民館について、下戸田公民館や美笹公民館を利用したことがありますが、少し、暗くて古いイメージをもちました。</p> <p>地域の皆さんがよいイメージをもって利用できるように、内装や機材等も含めてリニューアルできるかどうかを確認したいです。</p>
教 育 長	<p>こちらは健康福祉部との連携もあるので、教育委員会だけで回答するのは難しいのですが、今後どのような計画になっているのかは生涯学習課で答えられますか。</p>
説 明 員	<p>現状の中で説明いたします。</p>
委 員	<p>先日、プラットフォームイン戸田に参加させていただきました。</p> <p>その中で、メディアリテラシーの育成について、戸田東小学校が授業参観でメディアリテラシーに関する授業を行う事で保護者と情報の共有を行ったという報告を見て、保護者も知識が十分ではないので、共に学ぶということはとても大切な事であると感じました。</p> <p>私は、反応が怖いのでインターネット上に意見の書き込みは絶対行わないようにしていますが、子供たちを見ていると躊躇なく書き込みをしています。やはりただ逃げているだけでは何の解決にもなりませんし、インターネットとどのように付き合っていくかが重要なのだと感じました。</p> <p>市内の小学校でメディアリテラシーに関する資料が共有できると聞きましたので、各学校で工夫されている取り組みなどを教えていただけたらと思います。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございます。</p>

	<p>本市におけるメディアリテラシー教育の現状を今後の展望も含め教育政策室から御報告します。</p> <p>それ以外に何かございますか。</p>
委員	<p>保護者負担の修学旅行費や教材費等について、戸田市がどのくらい補助をしているか知りたいです。</p> <p>提案ではないのですが、報告だけでもいただければありがたいと思います。</p>
説明員	<p>就学援助と校外学習の補助について総合的にお示しできればと思います。</p>
教育長	<p>今まで、就学援助と校外学習補助についてまとめて報告したことはなかったので、近いうちに報告させていただきます。</p> <p>他にはよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>一つよろしいですか。</p> <p>先程の話に関連して、「公民館」という名前を変えることはできるのでしょうか。</p>
説明員	<p>社会教育法で位置づけられている施設もありますが、愛称という形での名前変更は可能かと思います。今後そういった課題も含めて検討していければと思っております。</p>
教育長	<p>正式な名前は簡単に変えることはできませんが、いわゆる愛称として、戸田市でいうと、「コンパル」や「アイパル」のように名前を付けるというのは自由にできるということです。何か変えた方がよいということですか。</p>
委員	<p>「公民館」は私のイメージからすると古色蒼然としている印象を受けますので、「コミュニティーセンター」などの何となく明るく楽しそうな名前を考えたほうがよいのではないかと思いました。</p>

<p>教 育 長</p>	<p>建物自体が古いのであれば、名前を新しくしたらどうかということですね。今後、検討したいと思います。ありがとうございました。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>それでは「報告第 7 号及び議案第 21 号」を議題といたします。秘密会とすることに決定しておりますので、説明員で議案に係る職員以外は退席願います。</p>
<p>教 育 長</p>	<p><b>【報告第 7 号及び議案第 21 号を議決して閉会】</b></p>

	以上のとおり会議の経過及び結果を記し、相違ないことを証するため署名する。
	令和6年10月17日
	教 育 長
	教育長職務代理者
	委 員
	委 員
	委 員
	書 記